

## 平成24年度

# 市長とのタウンミーティングの開催状況

市民参画型のまちづくりを目指すため、「産業の育成と雇用拡大」「観光振興」「過疎・少子高齢化対策」をテーマに、市長とのタウンミーティングを開催しました。

市内4会場で206人の方々からご参加いただき、市長が直接対話しながらご意見を伺うことができました。市では市民の皆さまからいただいた貴重なご意見を、市政運営に反映させていくよう努めます。

### 日程・会場・参加者数

○10月1日(月)	あいかわ開発総合センター	58人
○10月2日(火)	アミューズメント佐渡	33人
○10月3日(水)	羽茂農村環境改善センター	50人
○10月9日(火)	佐渡島開発総合センター	65人

### 主な意見交換

【市民】若者の雇用対策を早急に行い、人口減少を抑制してもらいたい。

【市長】佐渡市の有効求人倍率は、全国的には悪い数字ではないが、職種によるミスマッチがみられるので、インターンシップを通じて企業回り

を行う仕組みづくりをしたい。また、第1次産業の振興だけでなく、加工することで付加価値を付けたり、流通に関わったりすることで6次産業化を目指し、雇用の場を生み出していきたい。



【市民】地元の農水産物をホテル・旅館で使用してもらいたい。

【市長】観光形態が、団体で来て宴会をするという形から、個人で来て地域の食べ物を味わうという形に変わってきている。そのため、農林水産業と観光の連携が不可欠であり、高齢者が作っている少量の野菜や一夜干しの雑魚等を、市が仲介してホテ

ル・旅館に卸すという仕組みづくりができないかと考えている。

【市民】離島振興法が改正され、期間が延長されるとともに、交付金の用途が増えたと聞いたが、説明してもらいたい。

【市長】離島振興法は10年間の時限立法であり、現在の制度は25年3月で終了するが、10年間延長されることになった。改正後の主な制度は離島活性化交付金と離島特区で、この制度を活用して輸送費やガソリン価格等の本土と離島で埋めることのできない格差を解消していく。タウンミーティングや官民協働の推進プロジェクトで市民の皆さまから意見をいただき、国へ施策を提案していくことになる。

【市民】北陸新幹線開通に向け、小木・直江津航路の運航時刻を見直し、新幹線から直江津港への直通バスを検討してもらいたい。

【市長】日によって運航時刻が違うという変則ダイヤは、旅行者がツアープランを組みにくいので、小木・直江津航路を正常ダイヤに戻すよう努めるとともに、北陸新幹線との接続や島内交通を総合的に検討し、周遊型観光を目指していく。また、おおさど丸の代替船の造船に市から補助することで、佐渡汽船の運賃を安くして市民の皆さまにも還元したい。

【市民】支所・行政サービスセンターの職員が減っているため、地域の飲食業には死活問題である。また職員は地域の中心となり、ボランティア等に協力してもらいたい。

【市長】職員の全体数はまだ減っていないため、支所・行政サービスセンターの職員を増やすことはできないが、観光対策と併せて商店街の活性化も考えていかなければならない。支所・行政サービスセンターの仕事は、地域活性化のために人とのつながりに努めることであるし、職員はボランティア等にも積極的に参加し、市民にサービスしなければならない。



皆さまの貴重なご意見等、誠にありがとうございました。

問 市役所総務課 広報広聴係

63-3111